

お名前	友次 通憲 (ともつぐ みちのり)	
(年齢) 60歳	(所属党派)	無所属
連絡先	電話	072-627-0150
	Fax	072-627-0151
	E-mail	tomotsugu@joy.hi-ho.ne.jp
WEBサイト	http://www.joy.hi-ho.ne.jp/tomotsugu/	

【茨木市議会議員選挙にあたっての立候補予定者への公開質問内容】

(ご回答の要領…①各質問に記述の要領により、ご回答をお願いします。

②ご意見等がある場合は、自由記述欄あるいは2枚目の余白部分にご記入ください。

質問(1)：「茨木市議会基本条例」について、どのように考えられますか(?)。

〔(A)・(B)・(C)のどれか、該当する□内に✓をご記入ください。〕

(A) 議会の改革・活性化を図るにふさわしい条例である。

(自由記述：)

)

(B) 議会の改革・活性化には、さらに検討すべき点がある。

(自由記述：常任委員会のライブ中継の検討、議会報告会の内容や開催規模、議員間討議のあり方)

(C) 本市議会にとってふさわしい条例でない。

(自由記述：)

)

質問(2)：茨木市議会活動・運営は、市民の期待に答えていると考えられますか(?)。

案内文で触れている「みえる議会」・「わかる議会」・「いかす議会」について、市民の視点では、次のような姿が望まれますが、それぞれに関し、どのように評価されているでしょうか(?)。

「みえる議会」…茨木市議会の実態を知り、議員活動や議会運営への関心を高められるよう、広報の充実などにより、市民に開かれ、身近な議会であること。

「わかる議会」…議会の存在意義や実績を理解し、問題意識を深められるよう、多様な対話機会の設定などにより、市民に説明責任がなされ、信頼される議会であること。

「いかす議会」…市民が責務を自覚するなか、QOL(生活の質)が向上できるよう、議会制度における参画の拡充・活用により、市民が参加・協働のできる議会であること。

〔それぞれの実現度を5段階(※)で評価のうえ、[]内に該当する段階のマークをご記入ください。〕

(※)5段階：充分実現している＝[◎]、実現できている＝[○]、検討すべき点がある＝[△]、あまり実現していない＝[×]、評価できない＝[－]

「みえる議会」について…[○] (自由記述：インターネットライブ中継や議会録検索システムの整備に着手。)

「わかる議会」について…[△] (自由記述：議会報告会のあり方を検討する必要がある。フリーテーマで議論ができる場を作るべき。)

「いかす議会」について…[△] (自由記述：陳情や請願の踏み込んだ議論が不足している。部分採択も可能にすべき。)

質問(3)：議員活動にあたっては、どの点を重視されますか(?)。

〔以下の10項目のうち、特に重視される活動を5つ選択し、該当する□内に✓をご記入ください。〕

- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 地元住民の要望・意見を聞く活動 | <input type="checkbox"/> 所属会派中心の合意形成に努める活動 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 行政運営を監視・評価する活動 | <input type="checkbox"/> 議員間の自由な討論を充実する活動 |
| <input type="checkbox"/> 市民に議会活動の報告をする活動 | <input type="checkbox"/> 市民全体の福祉向上を目指す活動 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 自らの資質向上に努める活動 | <input checked="" type="checkbox"/> 議会の改革・活性化を図る活動 |
| <input type="checkbox"/> 市民全体の奉仕者としてふさわしい活動 (自由記述：) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 本市の現在及び将来を見据えての活動 (自由記述：) | |

◆【立候補されるにあたってのご決意や前掲質問に関するご意見等をご記入ください。】

- ・議会基本条例の制定が最終の形ではなく、議会改革取り組みのスタートであると考えます。
本議会のインターネットライブ配信や録画配信は、みえる議会に一定の効果は出ていると思いますが、常任委員会のライブ中継をどうしていくのか早期に結論づけられるよう取り組んでいます。
- ・また、議会報告会も年1回、テーマを決めて合同開催していますが、一方通行でのやり取りが続いており、参加者との自由討議が行われていない現状を改善する必要があります。
- ・住民の声を聞き政策に反映するのも、行政運営を監視するのも、現状の課題を掴み将来を見据えて活動するのも、一人ひとりの議員です。
高度化、複雑化、専門化する行政課題に向き合い解決策を立案するためには、議員の資質向上が必要不可欠であり、それを支える体制構築を検討すべきと考えます。

以上